

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		りんくむろらん		公表日		令和8年3月16日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	3	以前よりもう少し広ければ支援の幅や安心できる居場所づくりができるのと移転を考えていますが、駐車場の確保や利便を考えるとむずかしい現状です。今は施設や町会会館を借りイベント等で活動しています。	人数が増えてきたこともありレク等行う場合少し手狭に感じている。 面積狭く、部屋数も少ないので移転したい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	職員の急な休みや送迎時間が重なりや無負えない場合は送迎同行（学校→学校）にて対応している。 児童が多くなって来ているので送迎職員、または時短の有資格者を今後求人を出し採用したいと考えています。（常勤の勤務者は今後採用予定ありません）	契約児童が増加に対し最低限の人数で対応している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3	バリアフリー等環境に配慮する対象児童がいない マットの段差や周辺に物が落ちていないか安全確認を徹底している		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日清掃、消毒を行い整理整頓を行っている。 狭い空間でも活動しやすいように整理されている。 職員が毎日お子様の為に清潔を保ち、また整理整頓も児童のお手本となる様工夫し取り組んでくれている。 部屋は狭いが子供たちが楽しめる空間づくりを行っている。	新規のお子様も加わり床のマットがベン等で汚れが目立ってきたので近々張替ができれば幸いです。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	3	クールダウン等の個室が用意できず、お子様に窮屈な思いをさせてしまっているのではと思っています。仕切り等ではじめは対応していましたが正直役には立たなかった。事務所を居場所として提供する頻度が高く、本来であれば良い環境を整えてあげたいです。	契約児童が増えてきており手狭の為満足いく空間を提供できていない。 個別空間は設けられていないが事務所や時に玄関前の空間を活用する場合がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	管理者が主体となり、職員間で意見が交わされている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	管理者が主体となり、職員間で意見が交わされている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	毎日朝会にてお子様の状況や保護者様の声等すべて情報共有し改善策をその都度立てています。当事業所の職員全員しっかりと情報共有しまた意見もしっかりと伝えてくれているので本当に助かっています。今後も継続できるよう環境を整えてまいります。 今後社内でも検討し実行したいと考えています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		法人内での評価は管理者間行っていますが第三者による外部の評価は行えていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	前年度は内部外部合わせ最低でも事業所内一か月に一度研修を行い、また個人で外部研修も参加させていただきました。 来年度も職員の資質の向上を図る為受講する機会を常に保ち続けていきます。		

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	HPIにて掲載をしています。 新年度には契約されているご家庭に配布済みです。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	時期に応じてモニタリングを行いお子様と保護者のニーズや課題と一緒に考え支援につながるように務めさせていただいております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	送迎時や電話、ライン等で全職員がお子様はもちろんの事保護者の方や学校の先生と情報共有をおこなわせていただき、お子様一人一人が主役になれるような支援を検討しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	計画作成時には職員間に周知していますが、計画に沿って支援をしています成長や環境、お子様や保護者の方の思いを汲み計画以外の支援ももちろん行わせていただいております。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	各様式を準備し毎日の記録を職員全体が行っています。アセスメントは児童発達支援管理責任者が行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	放課後等デイサービスガイドラインに基づき、「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」のねらいを踏まえた項目を設定し、児童の状況に応じた具体的な支援内容を記載しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	職員全員で一年の活動プログラムを作成し、一か月ごとに活動における「行事計画書」を担当をきめ作成周知しています。毎日の活動においても必ず朝全員で何をするのか、各担当を決めて行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	四季に合わせた活動をはじめ、お子様の「やってみたい」を常にきいてそれをもとに活動を工夫し考え事前に設定をしています。ただ発達特性や情報の少なから支援内容が固定化してしまい幅が広がられていない現状もあり、改善中です。	新しい遊びやプログラムがなかなか身につけられず対応が止まってしまう場合がある。(情報が少ない等が原因)
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個別と集団は基本毎日設定している。おおきな行事は個別を行っていない。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	上記記載にもあるように必ず朝会時その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携できるようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	当日は送迎時の学校の先生の申し送りのや児童の様子の報告を常に行っているが当日の支援状況や検討については次の日の朝会にて行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	個人日誌を用いて日々支援の様子を記録し情報共有、またその情報により支援の検証や改善ができるよう常に話し合いを行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	主に児童発達支援管理責任者が主観ではなく職員間や保護者、お子様のご様子に合わせ見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」のねらいを踏まえた項目を設定し、児童の状況に応じた具体的な支援内容を記載しています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	個別活動では自己選択制を導入しています。課題の選択肢がつながる事で集中力の持続や苦手感の克服、見通しのある過ごし方ができるような支援をしています。	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	主に管理者が参加している。時に主任職員が参加させていただくこともあります。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	協力医療は地域の小児科にお願いしているが、事故や怪我等今までなくあまり関わる事が正直ありません。保健師さんとの連携をしたいと思っています。	事業所から発信していても自治体との連携がうまく進まないときがある
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	主に送迎時に情報共有を行っています。学校の行事や時間割等は保護者からコピーをいただいたり、直接学校の先生にいただいております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	進学時など各関係機関に今後も要記等の開示も協力を仰いでいきます。もちろん個人情報である為保護者の方の承諾も得るため個人情報取り扱いの書類用意しサインをいただいております。	情報提供をお願いしていても実現できない事もある。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3		該当児童がいません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	各市や振興局から頂く通知や各関係機関における研修等を今後もチェックし参加予定です。	受ける機会がほしいと常に思っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	地域の大人の方との交流が主となっており、現在地域のお子様方との交流する機会は設けられていません。送迎の兼ね合いやお子様の特性の配慮から慎重に進めたいと思っておりますがなかなか難しい状況です。系列デイである函館のりんくきょうとの交流会は開催し、同年代のお子様方が自分たちの地域の紹介や遊びを行う機会を設けていました。段々と経験を重ね今後も実行できるよう努力してまいります。	正直送迎の時間帯や児童の特性を考えると難しい現状です。できるなら交流したいですが、バックアップが必要です。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	会自体が少ない為機会があれば参加したいと考えています。	管理者が主に参加している為、職員が参加することができていません。できたら職員全体が参加できる機会がほしい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	職員間で必ず情報共有を行っています。支援のありかた等のばらつきが無いように常日頃情報共有できる時間を設けています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	事業所内での個別で家族支援は行っていますが、集団での研修会や情報提供は行っていません。年に数回イベント開催事保護者の皆様が開わりを持てる機会を提供させていただいており、その場で情報の共有は行っています。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時には必ず時間お時間をいただき運営規定や利用料の説明、また今後の支援方針を保護者の方とお話し個別支援計画書を作成しています。一回の説明と枚数の多い契約書となる為、不明点がありあつた際はいつでも対応できるようラインを契約時登録していただき保護者様がいつでも問い合わせできるようにしております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	お子様および保護者の方の意思を尊重し、子どもの最善の利益を優先する観点を踏まえ、個別面談や連絡帳、送迎時のやり取り等を通して、お子様や家族の意向を確認する機会を設けながら支援計画の作成・見直しを行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	年に数回モニタリングを通し個別支援計画を作成、提示させていただきすべてのご家庭に承諾のサインをいただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	モニタリング以外にもご要望があれば保護者の方に面談する機会を設けています。また送迎時やライン等での子育てに関する助言も常に行っています。ただ保護者の方との都合が合わずなかなか実施できない場合もあり、その際は電話対応を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	0	保護者同士の交流の場は年に数回イベント時に設けています（クリスマス会やBBQ等）また兄弟児の参加も可能となっております。ですが受給日数が足りない、又は親子さんが勤務で参加できない事が現実あります。（ほぼ土曜日開催）	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情対策委員会を設置しており責任者である管理者が主に対応をマニュアルに沿って対応をさせて頂くようになっております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	毎月「りんくだより」という広報を発行しています。SNSは不定期ですがインスタグラムにて写真を掲載しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	当事業所すべての書類を鍵をかけ管理しています。またクラウド上にて情報管理を行い、事業所職員のみが管理作成が行える環境を整えています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	絵カード等のツールを持ちて意思確認をさせていただいております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	地域のイベントに参加することは常に行っていますが、招待することは建物的にもお子様の個人情報を守る観点から難しくなってきました（開所当初は数回行いました）町内会の班長を務めている為、町内会の方の出入りはあります。	感染症や個人情報の関係もあり実施出来なかった。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	感染症発生時のシミュレーションや外部での講習参加（救急救命）等を行っている。内部ではなくほぼ外部にお願いしている。	避難訓練は実施しているが他の訓練はしていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	定期的な訓練を行っています。近年自身が多くその都度職員間で対応の仕方を確認してまいりました。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	母子手帳等のコピーや記載書類を整える準備を致します。服薬やてんかん発作等の持病や服薬は常に保護者の方から情報提供いただき職員間で共有しています。	予防接種状況の把握はしていません。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	保護者の方に医師や病院から診断書や処方箋、アレルギー検査の結果や指示書の提出をお願いしています。今後も継続し保護者の方に協力を仰ぎます。	アレルギー検査を促しているがご家庭の都合でできていない場合がある。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画を作成すると同時に年間行事、年間研修予定票の作成を行い、一年のスケジュール管理をしながら研修や訓練、安全確認を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	支援プログラム同様年一回保護者へ安全計画はじめ年間の行事予定を配布している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	些細なハットとしたこと、ヒヤッとしたことをヒヤリハットにて記載し、職員間で改善策が定期的に話し合われています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	内部、外部での研修を随時行っています。去年は教育委員会、児童相談所開催の研修に参加させていただきました。また内部では虐待防止委員会を開催し系列事業所3事業所にてチェックリストを各事業所全員行い、改善点を話し合い実行しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	身体拘束がやむを得ず必要となる場合については、事業所内で組織的に判断基準を定めています。該当する可能性がある場合には、放課後等デイサービス計画への記載に加え、別途書面を用いて保護者へ十分な説明を行い、事前に同意を得ている。なお、当事業所においては身体拘束が必要となるお子様はほとんどいません。	